

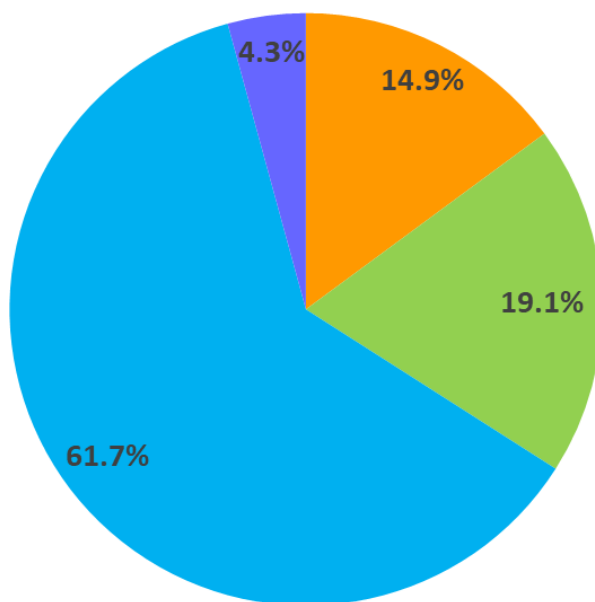
S S H中間評価（令和 6 年度実施）の結果について（総括）

対象校 47 校について、S S H企画評価会議協力者による総合評価及び項目別評価を行った。

総合評価

項目別評価の結果を合計し、6 段階評価で行った。一定程度以上の高い評価を受けた学校が 34.0%、一層の改善努力が求められる学校が 61.7%、このままでは研究開発のねらいを達成することが難しいと思われる学校が 4.3%であることが認められた。なお、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成が困難であると思われる学校はなかった。

（1）構成比



【評価の目安（6 段階）】

- 優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される
- これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される
- これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる
- 研究開発のねらいを達成するには、助言等を考慮し、一層努力することが必要と判断される
- このままでは研究開発のねらいを達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の変更等の対応が必要と判断される
- 現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成は困難であり、スーパーサイエンスハイスクールの趣旨及び事業目的に反し、又は沿わないと思われるので、経費の大幅な減額又は指定の解除が適当と判断される

(2) 各対象校の状況

【優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される（0校）】

該当校なし

【これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される（7校）】

宮城県仙台第一高等学校
兵庫県加古川東高等学校
香川県立観音寺第一高等学校
熊本県立熊本北高等学校

宮城県仙台第三高等学校
兵庫県立長田高等学校
熊本県立天草高等学校

【これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる（9校）】

山形県立米沢興譲館高等学校
茨城県立並木中等教育学校
東京都立小石川中等教育学校
大阪府立三国丘高等学校
学校法人池田学園 池田中学・高等学校

福島県立福島高等学校
千葉県立木更津高等学校
大阪府立岸和田高等学校
大分県立佐伯鶴城高等学校

【研究開発のねらいを達成するには、助言等を考慮し、一層努力することが必要と判断される（29校）】

北海道北見北斗高等学校
岩手県立釜石高等学校
茨城県立日立第一高等学校・附属中学校
群馬県立桐生高等学校
川口市立高等学校
東京都立多摩科学技術高等学校
神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校
北杜市立甲陵高等学校
三重県立伊勢高等学校
大阪府立千里高等学校
兵庫県立豊岡高等学校
鳥取県立米子東高等学校
岡山県立津山高等学校
福岡県立鞍手高等学校
鹿児島県立錦江湾高等学校

市立札幌開成中等教育学校
山形県立東桜学館中学校・高等学校
学校法人清真学園 清真学園高等学校・中学校
さいたま市立大宮北高等学校
千葉市立千葉高等学校
東京都立日比谷高等学校
山梨県立日川高等学校
愛知県立明和高等学校
京都府立嵯峨野高等学校
兵庫県立三田祥雲館高等学校
神戸市立六甲アイランド高等学校
岡山県立玉島高等学校
広島県立西条農業高等学校
佐賀県立致遠館高等学校・佐賀県立致遠館中学校

【このままでは研究開発のねらいを達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の変更等の対応が必要と判断される（2校）】

山梨県立韮崎高等学校

埼玉県立川越女子高等学校

【現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成は困難であり、スーパーサイエンスハイスクールの趣旨及び事業目的に反し、又は沿わないと思われるので、経費の大幅な減額又は指定の解除が適当と判断される（0校）】

該当校なし